

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年11月7日

【事業年度】 第6期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

【会社名】 株式会社コンコルディア・フィナンシャルグループ

【英訳名】 Concordia Financial Group, Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 片岡達也

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

【電話番号】 03-5200-8201(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部主計室長 斉藤純一

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋2丁目7番1号  
株式会社コンコルディア・フィナンシャルグループ

【電話番号】 03-5200-8201(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部主計室長 斉藤純一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2022年6月22日に提出いたしました第6期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

#### 3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### （1）当社グループの状況

（自己資本比率等の状況）

#### 第4 提出会社の状況

#### 4 コーポレート・ガバナンスの状況等

##### （4）役員の報酬等

提出会社の役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

## 第2 【事業の状況】

## 3 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

## (1) 当社グループの状況

<略>

## (訂正前)

業務粗利益RORA(連結)は、連結粗利益の増加により、前連結会計年度に比べ 0.1%ポイント上昇し、2.4%となりました。OHR(連結)は、連結粗利益の増加と営業経費の減少により、前連結会計年度に比べ 8.5%ポイント低下し、59.2%となりました。ROE(連結)は、親会社株主に帰属する当期純利益の増加により、前連結会計年度に比べ 2.6%ポイント上昇し、4.9%となりました。普通株式等Tier1比率(連結)は、12.09%と、リスクアベタイト・フレームワークの活用により、将来のリスクにも備えた十分な資本水準を維持しました。

<略>

## (中期経営計画 目標指標)

	前連結会計年度 (A)	当連結会計年度 (B)	増減 (B) - (A)
業務粗利益RORA(連結)	2.3%	2.4%	0.1%
OHR(連結)	67.7%	59.2%	8.5%
ROE(連結)	2.3%	4.9%	2.6%
普通株式等Tier1比率(連結)	12.40%	<u>12.09%</u>	<u>0.31%</u>

- (注) 1 業務粗利益RORA(連結) = 連結粗利益 ÷ リスクアセット  
 2 OHR(連結) = 営業経費 ÷ 連結粗利益  
 3 ROE(連結) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 株主資本 (期首・期末平均残高)  
 4 普通株式等Tier1比率(連結) = 普通株式等Tier1 ÷ リスクアセット

## (訂正後)

業務粗利益RORA(連結)は、連結粗利益の増加により、前連結会計年度に比べ 0.1%ポイント上昇し、2.4%となりました。OHR(連結)は、連結粗利益の増加と営業経費の減少により、前連結会計年度に比べ 8.5%ポイント低下し、59.2%となりました。ROE(連結)は、親会社株主に帰属する当期純利益の増加により、前連結会計年度に比べ 2.6%ポイント上昇し、4.9%となりました。普通株式等Tier1比率(連結)は、12.07%と、リスクアベタイト・フレームワークの活用により、将来のリスクにも備えた十分な資本水準を維持しました。

<略>

## (中期経営計画 目標指標)

	前連結会計年度 (A)	当連結会計年度 (B)	増減 (B) - (A)
業務粗利益RORA(連結)	2.3%	2.4%	0.1%
OHR(連結)	67.7%	59.2%	8.5%
ROE(連結)	2.3%	4.9%	2.6%
普通株式等Tier1比率(連結)	12.40%	<u>12.07%</u>	<u>0.33%</u>

- (注) 1 業務粗利益RORA(連結) = 連結粗利益 ÷ リスクアセット  
 2 OHR(連結) = 営業経費 ÷ 連結粗利益  
 3 ROE(連結) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 株主資本 (期首・期末平均残高)  
 4 普通株式等Tier1比率(連結) = 普通株式等Tier1 ÷ リスクアセット

(自己資本比率等の状況)

<略>

(訂正前)

連結自己資本比率(国際統一基準)

(単位:億円、%)

	2021年3月31日	2022年3月31日
1 連結総自己資本比率(4/7)	13.66	<u>13.06</u>
2 連結Tier 1比率(5/7)	12.40	<u>12.10</u>
3 連結普通株式等Tier 1比率(6/7)	12.40	<u>12.09</u>
4 連結における総自己資本の額	11,883	<u>11,697</u>
5 連結におけるTier 1資本の額	10,785	<u>10,836</u>
6 連結における普通株式等Tier 1資本の額	10,783	<u>10,834</u>
7 リスク・アセットの額	86,962	<u>89,547</u>
8 連結総所要自己資本額(7×8%)	6,957	<u>7,163</u>

(訂正後)

連結自己資本比率(国際統一基準)

(単位:億円、%)

	2021年3月31日	2022年3月31日
1 連結総自己資本比率(4/7)	13.66	<u>13.03</u>
2 連結Tier 1比率(5/7)	12.40	<u>12.07</u>
3 連結普通株式等Tier 1比率(6/7)	12.40	<u>12.07</u>
4 連結における総自己資本の額	11,883	<u>11,694</u>
5 連結におけるTier 1資本の額	10,785	<u>10,833</u>
6 連結における普通株式等Tier 1資本の額	10,783	<u>10,831</u>
7 リスク・アセットの額	86,962	<u>89,731</u>
8 連結総所要自己資本額(7×8%)	6,957	<u>7,178</u>

第4 【提出会社の状況】

4 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(4) 【役員の報酬等】

提出会社の役員区分ごとの報酬等の総額、報酬等の種類別の総額及び対象となる役員の員数

<略>

(訂正前)

[株式報酬(信託 部分)]

業績連動報酬である「株式報酬(信託 部分)」の中期経営計画(2019~2021年度)における各指標の目標は以下のとおりです。なお、当該指標の目標数値は、中期経営計画の最終年度である2021年度の数値としております。

指標	目標(2021年度)	実績(2021年度)
業務粗利益ROA(連結)	2%台半ば	2.4%
OHR(連結)	60%程度	59.2%
ROE(連結)	5%台半ば	4.9%
普通株式等Tier1比率(連結)	12%程度	12.09%

株主資本(期首・期末平均残高)ベース

(訂正後)

[株式報酬(信託 部分)]

業績連動報酬である「株式報酬(信託 部分)」の中期経営計画(2019~2021年度)における各指標の目標は以下のとおりです。なお、当該指標の目標数値は、中期経営計画の最終年度である2021年度の数値としております。

指標	目標(2021年度)	実績(2021年度)
業務粗利益ROA(連結)	2%台半ば	2.4%
OHR(連結)	60%程度	59.2%
ROE(連結)	5%台半ば	4.9%
普通株式等Tier1比率(連結)	12%程度	12.07%

株主資本(期首・期末平均残高)ベース